

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成27年度第1回スポーツ推進審議会
開催日時	平成27年8月21日(金) 18時30分～20時20分
開催場所	高松市役所 3階 32会議室
議 題	報告事項 高松市民のスポーツに関する意識調査結果について 議題 高松市スポーツ推進計画(案)について ・基本方針・施策等について ・基本目標について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	内海委員、大西委員、十河委員、田村委員、野崎委員、松本委員、森委員、渡辺委員(欠席3名)
傍聴者	0人 (定員 5人)
担当課および連絡先	スポーツ振興課 839-2626

### 会議経過及び会議結果

#### 【会議の経過】

- (1) 会長あいさつ
- (2) 事務局から会議成立の報告をした後、会議の公開について委員会に諮り、審議した結果、公開を決定した。
- (3) 事務局から報告事項「高松市民のスポーツに関する意識調査結果」について説明した。
- (4) 事務局から議題「高松市スポーツ推進計画(案)に関する基本方針・施策等並びに基本目標」について説明した。

委員から意見を聴取した。

項目ごとの主な意見、質疑等は次のとおり。

#### 報告事項

- 高松市民のスポーツに関する意識調査結果について

#### 【A委員】

アンケート回収率32.7%については、一般的な結果であるか。

#### 【事務局】

前回と比較して3.6%減ですが、回収率的には比較的この程度の結果である。

## 会議経過及び会議結果

### 【B委員】

スポーツを行わなかった理由の中で、機会・情報が少ないというポイントが比較的高く、また、広報たかまつにおけるスポーツイベント等の認知度が若干下がっており、字が小さく、私自身は正直、表紙だけしか見ていないため、情報発信の面で工夫してほしい。

### 【C委員】

高松市の施設利用状況のうち、高松市総合体育館の利用者数では、25年度に比べ26年度が極端に増えている原因は何か。

### 【事務局】

県立体育館が閉館になった影響があると思われる。

### 【D委員】

普段練習で使用する会場がなく、総合体育館等もなかなか取れないため、学校開放を探したり困っている団体がたくさんいるのではないか。

### 【事務局】

市総合体育館の稼働率が80%になっており、ほぼ数値的には利用できない状態である。キャパ的にこれ以上、利用が増えても対応が難しい状況である。

### 【E委員】

今回の調査結果において、健康増進体力づくり、軽いスポーツ、道路の3つが印象に残った。市民は、比較的軽いスポーツで、近くでお金のかからない道路を利用していることが分かった。このため、各々の地域において地区体協やスポーツ推進委員が地域の方のニーズに対して施策を考えた人々の中に、スポーツをしていない人が入っていけるのかというような大きな課題がある。従って、地域の方々に、健康増進体力づくりや比較的軽いスポーツの指導を行いやすくする環境づくりなどに取り組む必要がある。また、コミセンで行っている軽いスポーツについては、スポーツ振興課と健康増進の所管課とが上手にリンク・ミックスしないと高松市民のニーズに答えられない時代になっていると思う。

## 議 題

### 議 案

○高松市スポーツ推進計画（案）に関する基本方針・施策について

### 【D委員】

スポーツ施設の維持管理計画の策定については、老朽化に対する計画であるのか。

### 【事務局】

基本施策「障がい者スポーツの推進」の一事業として、今後、バリアフリー化等を現スポーツ施設に行っていくという計画である。

### 【D委員】

市民のスポーツの現状を考えると、比較的軽いスポーツを近くでというニーズがあり、地域の体育館でウォーキング教室などを行うと良いのではとの意見があったが、これを行政が直接実施するスポーツ教室等の充実という方向性ではなく、生涯スポーツ団体の活動支援や積極的に活動している団体に対する支援を行うというイメージで捉えれば良いか。

### 【事務局】

基本方針「楽しもう！わたしのスポーツ」の基本施策「各種スポーツ団体等の活動支援」の継続事業「団体育成」のところで反映している。

### 【A委員】

今、市内に夜間開放施設を利用しているスポーツ団体がどれくらいあるのか。また、どれくらいの人は何をしているのかなどの実態を掴めているのか。

会議経過及び会議結果

【事務局】

学校開放については、事前予約の関係で利用状況は把握できる。

【A委員】

地区の学校ではソフトボールやコミセンでは卓球教室等を行っているが、その実態を市として把握できているのか。

【事務局】

所管施設は把握できるが、コミセンでの活動状況については、情報として掴んでいない。

【A委員】

子供や老人など、それぞれの目標に応じて、国では4～5本の柱があるが、高松市では、それを参考にしながら行っていくということで良いか。

【事務局】

国の指針を推奨しながら行動する必要があるが、高松市自体の状況も踏まえながら、取り組んでいくことも必要であると考えている。

【C委員】

今からパラリンピックを目指そうとする人は何人かいるが、現在、選手を指導している人たちは、元々、その競技をしていた人たちが指導していないので、できればパラリンピックの各競技の指導者を集めた講習会に、高松の競技団体の中から障がい者スポーツのことを学びに行き、実際、目指そうかという人たちに指導してもらえるような環境を作ってほしい。

【D委員】

高松市体育協会で頑張っている指導者に、何か映像とか障がい者スポーツのリアルな現状を伝えるような講習会や、情報共有するようなものとか、福祉施設での活動を見てもらうなど、広く知ってもらえる場面が重要であると思っている。

【F委員】

調査結果を見て、スポーツ推進委員の認知度が余りにも低く残念である。また、フェスティバルやスポ推主管の競技大会も、全体から見ると僅かな参加しか数字を見ると、今、私たちが向いている方向が少し違うように思えた。市民が望んでいる競技性のスポーツでない、比較的軽い体操等について、関係団体もそういった方向で活動しなければと痛感した。

【B委員】

スポーツを行っていない理由の中で、情報がないという回答もあったことから、今までスポーツをしていない人を掘り起こすには、情報を流すシステムについて行政には、これまで以上に取り組んでほしい。

【G委員】

私たちが小学生の頃は、夏休みのラジオ体操は毎日あったが、今は最初と最後で、地域の方も参加している。その中で、知人のお婆さん曰く、生き生きすることも楽しいけれど、昔の友達に会えることを凄く喜んでおり、生き生きしている。公園でラジオを押すだけで生き生きするのであれば、毎日して欲しいというような例もあるので、その辺の公園でラジオ体操することとか、また、色々なパターンや、毎日できないのであれば週の内、何回かでも行うとか、また、そこでウォーキング教室とかを地域のスポーツ推進委員の指導の下、広めていくとか、上手く良いものが簡単に道路とか近くで、自分たちでできると思う。新しいものを考えることも必要ではあるが、私たちの年代は昔からしていたものが体に浸み込んでいるので、ラジオ体操等に取り組んでほしい。

○高松市スポーツ推進計画（案）に関する基本目標について

【D委員】

現スポーツ振興基本計画における「成人の週1回以上のスポーツ実施率」の目標値については、20年の調査で29.7%であったものを27年度には40%までにしようという計画であり、次期計画では、今回の結

## 会議経過及び会議結果

果である53.1%を踏まえ、8年後(35年度)の目標値を何%に設定すれば良いのか。また、本日の会議において決定する必要があるのか。

### 【事務局】

本日の会議で、できれば目標値を決定していただきたい。何%にするかについては、国の目標値を年平均としたものを市の目標に当てはめた場合、高い数値となり、現実的には達成が難しいと考えている。このため、国の目標値である65%、また、他の中核市もほぼ65%であることを踏まえ、65%が妥当ではないかとの提案をさせていただいている。

### 【A委員】

実施率については、見るスポーツは入っているのか。

### 【事務局】

含んでいない。

### 【B委員】

中核市の目標値がほぼ65%であるが、高松市と同様なスポーツ施設があるのか、それとも、この市はスポーツ施設が充実しているということはないのか。

### 【事務局】

だいたい同一規模の市であるため、スポーツ施設数に大きな差はないと思われるが、各市の施設数については把握できていない。

### 【B委員】

53.1%を65%に上げるとなると、ハード面とソフト面を今以上に行っていく必要があるため、行政も今まで以上に支援しなければならないと思うが、その点についてはどうか。

### 【事務局】

当然そうであると思っている。今後、この推進計画の事業の方向性については、委員の意見に基づいて、新規事業、拡充、見直しを行うことにより、53.1%から向上すれば良いと思っている。

### 【E委員】

この5年間にそんなに大きなことはしていないと思うが、アンケートの結果では53.1%となった。このことを踏まえ、東京オリンピックが5年後にあり、スポーツ熱が非常に高まる最後のところであるため、逆に目標を高くして、他市に負けない、それ以上の思い切った67%とか70%ぐらいにすることで良いと思う。

### 【B委員】

平均寿命も延び、最近ウォーキングする人も増え、健康に対する意識が高くなっていることを踏まえ、8年後も比較的健康的意識は高ぶっていると想定されるため、高い目標値でも良いと思う。

### 【G委員】

市の職員が、まずは昼休みに中央公園を20分間歩くとか市民に示せば良いと思う。

### 【C委員】

歩くことに関連して、人工関節の手術した知人から、通院時にバスの時刻にタイミングが合わず、少し歩いてみようと思い歩いたら、色んな物が見つけられて楽しく歩くのが楽しくなり、その後どこへ行くのもなるべく歩いていこうという気持ちになったと聞き、今回、歩くことを運動・スポーツとしたことは、非常に良い傾向だと思う。

### 【E委員】

国の65%が妥当だと思うが、他市から見て、高松は健康づくりのために本当に頑張っていますねと、視察に来られるぐらいの市に今回してはどうか。

### 【全委員】

次期スポーツ推進計画における「成人の週1回以上のスポーツ実施率」の目標値については、満場一致で70%に決定した。